



▲土山駅前のイルミネーション

◆あつという間の一年でした。師走を迎える季節、今年も土山駅南のロータリーに、イルミネーションが点灯しました。毎年、その規模は拡大していて、今年はいせきくん、やよいちゃんのキャラクターや55(周年)、町章もひときわクリアな輝きを見せています。駅に降り立った人々を温かく出迎える空間であって欲しいと願っています。1月18日まで点灯していますので、ぜひ一度ご覧ください。制作された明石高専の学生さんたち、来年のアイデアも楽しみにしています。

◆11月20日、総合教育会議(町長と教育委員がまちの教育について話し合う会議)を蓮池幼稚園で開催しました。会議の前に、まず4月から実施している「預かり保育」を視察、園長先生から説明を受けました。日々の利用も多く、徐々に定着してきているようです。保育園とのすみ分けができて、時には幼稚園のお母さんたちにもリフレッシュの時間を持っていただければと思っていますが、子どもたちと過ごす時間も大切にしてお気持ちを、この制度をご利用いただければ、うれしく思います。

◆12月6日ことぶき大学の大学祭が開催されました。数々の熱のこもった演技に中央公民館のホールは活気にあふれました。その中で「今里傳兵衛」の功績を描いた寸劇は、よく調べられた史実を会場大爆笑の渦の中で演じられ、改めて、とても高齢(熟年)者とは思えないパワーに感嘆いたしました。まちの先覚者にスポットを当てていただいております。ありがとうございます。まちの中でも、ことぶき大学の皆様のその元気パワーを思いっきり発揮してくださいね。ご活躍を期待しています。(このたび、町が制作した今里傳兵衛の生涯を描いたDVDが完成しました。地域や団体でご利用いただければ幸いです)

播磨町長 清水ひろ子

園児が手作りティッシュで「火の用心！」

加古川市東消防署 予防係 ☎079(426)0119

加古川市東消防署は秋季火災予防運動を控えた平成29年11月8日、JR土山駅前のB i V i 土山にて蓮池幼稚園の年長クラスと一緒に火災予防広報を実施しました。

施設及び駅利用者に対して、園児が作成した防火ポスターを入れたポケットティッシュの配布を行いました。当日は小雨のぱらつく天気でしたが、園児たちは大きな声で「火の用心!」「みんなで守ろう播磨町!」と力強く呼び掛けました。



日は小雨のぱらつく天気でしたが、園児たちは大きな声で「火の用心!」「みんなで守ろう播磨町!」と力強く呼び掛けました。

交通安全のつどいを開催しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

11月20日に播磨小学校で交通安全のつどいを開催しました。佐川急便と神姫バス、加古川警察署にご協力いただき、内輪差についての実演講習やバスの乗り方講習など、交通安全についてのいろいろなことを学びました。学習の後には、兵庫県警察音楽隊による演奏を楽しみました。



楽屋裏
今年度、「記憶に残るまち播磨」をテーマに町制施行55周年記念事業を行っています。裏紙に播磨町の1年の出来事をまとめてみました。皆さんにはどんな記憶が残っていますか? また表紙写真は、新島の南側岸壁で撮影しました。播磨町では、昭和53(1978)年から平成5(1993)年まで、新島公園で、元旦の朝に「こ来光の集い」を催していました。初日の出を拝みながら、寒い中で温かいぜんざいを食べた子どもたちは、もう20歳くらいです。ふるさと播磨町の記憶として、きっと今もおぼえていることと思います。
播磨町の皆さまの新年がよいことになりましょ。

播磨町農業委員会で横山農園を見学しました

住民グループ ☎079(435)2364

横山農園(北本荘)は町の認定農業者として、横山大地さんが運営する農園です。11月20日に農業委員が訪問し、いちごハウスや直売所を見学しながら栽培方法や工夫している点などを横山さんから説明を受けました。

横山農園がいちご栽培をはじめから今年で3年目、順調に栽培がおこなわれ品質の良いいちごが生育している様子を見ることができました。



▲いちご栽培を見学

※認定農業者とは、意欲と能力のある農業者が自らの経営を計画的に改善するため、「農業経営改善計画」を作成し、市町村から認定を受けた農業者です。

播磨町消防団非常呼集

危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨町消防団は11月12日の午前中に非常呼集を実施しました。空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。午前9時30分過ぎに、町の防災行政無線にて非常呼集がかかると、分団の消防車15台が続々と蓮池に到着し、合図に合わせて一斉放水を行いました。



山元町からの手紙

今回は11月19日に開催された、ふれあい産業祭の様子を紹介します。

震災後に開催され7回目を迎える今年は、会場が新市街地の公園に移り、特産品の試食・販売やチャリティー抽選会などで盛り上がりました。ステージで行われたブランド認証授賞式では大中遺跡まつりに来ていただいたリンゴ農家の阿部賢一さんも受賞されました。寒さにも負けず活気にあふれた中、山元町の復興を体感できました。 藤原 洋介



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亶理郡山元町に派遣されています

第2回はりますくすくベビーフェスタを開催

すこやか環境グループ ☎079(435)2611

11月19日に、第2回はりますくすくベビーフェスタを中央公民館で開催し、117人の参加がありました。イベントコーナーでは、ベビーヨガで親子一緒にからだを動かしたり、小児科の先生の講話を聞いたり、母親クラブの優しい歌声とハンドベルに癒されました。

各ブースでは、かわいい写真撮影、手形&フォトコラージュ作り、野菜たっぷり料理の試食、手作りおもちゃ遊び、大型絵本などがあり、どれも好評でした。当日はスタンプラリーも実施。各ブースを回って、スタンプを集め、最後は記念品をお土産に! 帰りは、「楽しかったです」「家族で参加できて良かった」「また来年ぜひ参加したい!」という声が聞かれ、みんなの笑顔がみられました。



▲手型コーナー

「また来年ぜひ参加したい!」という声が聞かれ、みんなの笑顔がみられました。



▲美しい音色を奏でていました

わんぱくはりまっこ

10ヵ月



はしもと れい
橋本 怜ちゃん
(古宮)

新しい年も元気いっぱい過ごそうね!
(父ちゃん・母ちゃんより)